



お元気ですか!
志村 たかよし です

第932号 2019年3月31日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

予算委員会
報告

国民健康保険料 滞納世帯に対する 「差し押さえ」の厳しさは 23区で一番

年収二百万円未満でも差し押さえは57件

高すぎる国民健康保険料

高すぎる国民健康保険料が大問題になっています。

国保料は、家族構成や収入額によって違います。

給与所得者3人世帯（世帯主+配偶者+子）の場合の19年度の中央区の国保料は、

収入額2百万円：24万6千円
4百万円：43万7千円
6百万円：60万9千円

と試算されています。ほぼ、給料一か月分以上もの保険料になっています。



自営業や無職の方たちを直撃

会社員の方は保険料を会社などで折半しています。

国保に加入している自営業や無職などの方たちには、保険料アップが「直撃」となります。

そのため、保険料を払えない人も多く出てしまい、中央区では、加入者の約1/4が未納という状況です。

差し押さえ問題を委員会で追及

高すぎる保険料が払えない滞納世帯への差し押さえが「23区で一番厳しいのが中央区」と聞いて耳を疑う方もいらっしゃるかもしれません。

私は、予算委員会で資料をもとに、「差し押さえ」問題を追及しました。

低所得世帯も差し押さえ

差し押さえの金額を件数で割って平均額を出し、23区で比較しました。

- ▽中央区は259件で3442万円。1世帯当り約13万円。
- ▽千代田区は38万円。
- ▽港区は26万円。
- ▽江東区は49万円。
- ▽文京区は76万円。
- ▽23区全体は、36万円。

つまり、中央区では、低所得者への差し押さえが多いことを示しています。

私は、中央区の差し押さえが「200万円未満が57件。200万円以上400万円未満が89件」となっていることを指摘し、「他区と比べても所得が低い世帯への差し押さえを強化している」と批判しました。

差し押さえ件数は3年で20倍に

15年度から17年度までの「新規」差し押さえ件数の傾向を23区で比較しました。

▽中央区は13件から259件で約20倍。

▽千代田区は1件が14件で14倍

▽港区は2・4倍

▽文京区は4倍。

▽台東区は1・05倍

▽23区全体は1・17倍。

▽東京全体は1・14倍

減少している自治体は、新宿

区(0・65)、墨田区(0・31)、

江東(0・97)、練馬(0・65)、

品川(0・94)の5区です。



差し押さえ件数が増加していることも、中央区の「厳しさ」を証明しています。

目標もって差し押さえを強化

区長は、差し押さえ目標を「150件以上」にしていることを本会議で明らかにしました。

「世界一を目指す東京をけん引する」と豪語する中央区。

この4年間に市街地再開発事業に390億円も税金を投入し超高層ビルを建て続ける一方で、区民に冷たい中央区の実態。

「世界一」を目指す資格があるのか疑問です。

実態は脅して回収することでは

区が差し押さえを行うのは、「支援につながる話し合いの糸



口」になるからと説明します。実際はどうでしょうか。

本会議で、区長は「17年度で支援につながったケースはなかった」と答弁しました。

支援につながっていないなら、差し押さえの通知で「脅かし」て保険料を払わせるという乱暴なやり方は改めるべきです。

「福祉の増進」に努力すべき自治体がやることではありませんん。

私は、「差し押さえで脅かして払わすという発想を、丁寧に働きかける発想に変えることが必要。差し押さえは原則やめるべき」と指摘しました。

削減した2億円の復活を要求

区は「法定外繰り入れ」という国保会計への財政支援を2億円削減しました。

そのため、保険料は、一人当たり4千円増えました。

私は、削減した2億円を復活させ、区民負担を軽減することを求めました。

全国知事会が政府に要望している「1兆円の公費負担増」を実現させれば、保険料を「協会けんぽの保険料並み」に引き下げることができそうです。

国保制度を守るためにも、区民の健康を守るためにも、国や行政の支援がどうしても必要です。

「お元気ですか」

バックナンバーの

QRコードです

